

菊池地域リハビリテーション 広域支援センターニュース

Vol. 12



「摂食・嚥下障害」研修会



認知症フォーラム



「いすに座ってできるきくちゃん体操」
効果検証事業



はじめに

明けましておめでとうございます。

平成18年は介護保険・医療保険・障害者自立支援法の改正、そして自治体においても地域支援事業が実施され、介護保険・医療・福祉・保健の関係者にとっては大変な1年であったと思います。当支援センターにおいても事業費の削減があり、効率的な支援を図るため、介護予防を中心に支援してまいりました。介護予防の中心となる運動機能向上に対しては、2つのきくちゃん体操指導者養成研修会を開催し、リーダー・サポーター育成を図り、各市町のニーズに応じた要介護予防の体制作りを支援しております。また、「いすに座ってできるきくちゃん体操」効果検証事業を菊池地域振興局・菊陽町社会福祉協議会と共同で実施し、3月には効果検証報告会を開催いたします。栄養改善と口腔機能向上に対しては「摂食・嚥下障害研修会」を他機関と共同開催しました。また、認知症予防・支援に対しては認知症フォーラムを菊池地域振興局と共同開催しました。今回のセンターニュースでは上半期の実績を含めまして主要な活動について報告致します。



【 平成18年度上半期の活動報告 】

1. 現地指導:15件

①機能訓練:7件(市町村)

内容:長寿きくちゃん体操、いすに座ってできるきくちゃん体操
体力測定研修会

②住宅改修:2件

③福祉用具選定:2件

④その他:4件

2. 相談件数:22件

①電話相談:16件

内容:機能訓練:15件、福祉用具選定:0件、住宅改修:1件、その他:0件

②面接相談:6件

内容:機能訓練:6件、福祉用具選定:0件、住宅改修:0件、その他:0件

件数	現地相談	電話相談	面接	合計
市町村	7	3	0	10
医療機関等	1	1	1	3
施設等	1	3	0	4
住民	6	8	5	19
在宅関係介護保険事業者	0	1	0	1
計	15	16	6	37

延べ人数	現地相談	電話相談	面接	合計
市町村	18	3	0	21
医療機関等	1	1	1	3
施設等	1	3	0	4
住民	263	8	15	286
在宅関係介護保険事業者	0	1	0	1
計	283	16	16	315

現地指導	件数	延べ人数
機能訓練	7	160
福祉用具選定	2	4
住宅改修	2	4
その他	4	115
計	15	283

電話	件数
機能訓練	15
福祉用具選定	0
住宅改修	1
その他	0
計	16

面接	件数
機能訓練	6
福祉用具選定	0
住宅改修	0
その他	0
計	6



ただいま...

『いすに座ってできるきくちゃん体操』 効果検証事業 実施中！

対象地区を選定し、3地区で効果検証事業を実施中です。各地区で今年8月に体力測定を実施し、下記に示した頻度で3ヶ月間体操を行い、11月に再び体力測定を実施しました。

体力測定や体操講座においては、菊陽町社協をはじめ、振興局、NPO法人スポーツ福祉くまもと、菊陽町、地域ボランティア、支援センターの協力により実施されました。

現在、①体力面、②精神面、③生活での変化、の3点を中心に効果検証を行っています。

※平成18年3月7日 報告会を予定しています。

詳細は、添付してあります。ご案内をご覧ください。

【対象地区】・A地区：週1回 体操講座開催（モデル地区）

・B地区：月1回 体操講座開催

・C地区：体操講座なし

体力測定

息をゆっくり吐きながら～



体操講座

1・2・3・4...



結構、力があるね！





「摂食・嚥下障害」研修会開催 ーおいしく、安全に食べるー

「摂食・嚥下障害」研修会を菊池地域振興局 菊池郡市歯科医師会 歯科衛生士会菊池郡市支部 菊池地域リハビリテーション広域支援センターの共催と栄養士会菊池郡市支部の後援で平成18年10月11日（水）に開催しました。この研修会ではそれぞれ専門職の立場から講演・実技を実施して頂き、より充実した研修会が開催できました。

摂食・嚥下障害の基礎 (医師 齊藤智子先生)

- ・摂食・嚥下の基礎知識
- ・摂食・嚥下障害の発見法
- ・評価と治療
- ・嚥下障害への対応法



口腔ケア(講義) (歯科医師 松岡拓治先生)

- ・口腔ケアの基礎知識
- ・口の問題
- ・口腔清掃のポイント
- ・口腔ケアの必要性



口腔ケア(実技) (歯科衛生士 松崎貴久子氏 坂本由美氏 矢野道子氏)

- ・口腔ケアの流れ
- ・口腔内の各器官の観察
- ・だ液腺マッサージ
- ・義歯管理 対策メニュー
- ・お口の清掃 対策メニュー
- ・舌のケア 対策メニュー
- ・口臭 対策メニュー

他8名の歯科衛生士さんにご協力いただきました。





摂食・嚥下リハビリ(実技)

(PT・OT・ST 計10名)

- ①嚥下体操・嚥下訓練
- ②食事姿勢
- ③食べ方の工夫
- ④食事自助具紹介
- ⑤痰の出し方
- ⑦むせ対策



嚥下食作成(講義)と 嚥下食紹介・トロミ食作成 (管理栄養士 嶋津小百合氏 他3名)

- ・低栄養の基礎知識
- ・嚥下食紹介(調理方法)
- ・お粥のとろみ濃度(例)



業者による展示説明会 (6社)



研修会の参加者からの声

研修会には102名の方の参加があり、研修会終了後に参加者の皆様にアンケートのご協力頂いております。毎回貴重なご意見、ご要望も多数頂いており、次回からの研修会に活かしたいと思います。研修会での皆様からの声を掲載いたします。ご協力ありがとうございました。

- ・講義・実技を交えてとてもよい研修会の機会をいただきました。
- ・口腔ケアの方法・仕方、とろみのつけ方、交互嚥下、排痰方法、姿勢など新たな発見、学びがありました。
- ・実際に嚥下体験をしてみて、利用者の立場に立つことができ良かったです。
- ・難しい言葉でなく、誰にでも分かりやすく、楽しく実技をしながらで理解しやすかったです。
- ・仕事の中で今日のお話を一つ一つ思い出しながら、行なっていきたいと思います。
- ・介護保険改正で気になる分野だったので、話を聞くことが出来て良かったです。



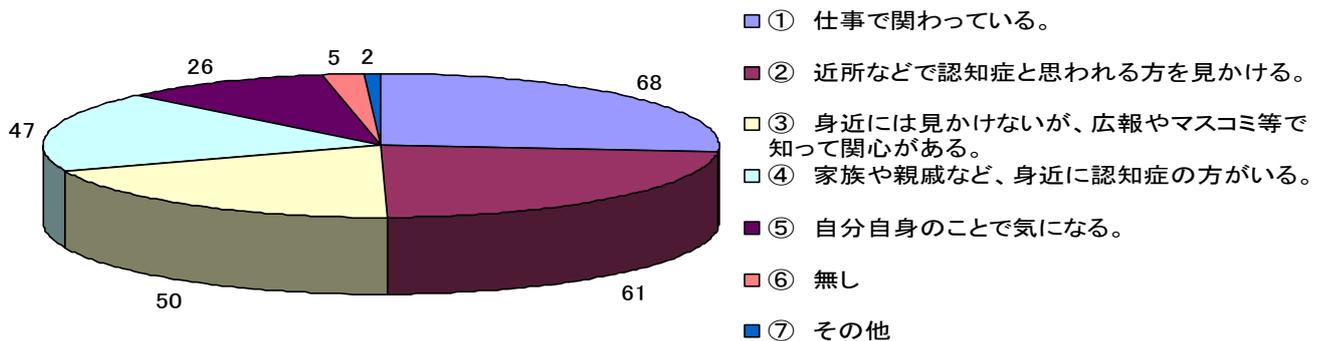
認知症フォーラム開催報告

去る7月25日、菊池市『笹の家』にて、認知症フォーラムを菊池振興局と共同で開催しました。講師は熊本県福祉のまちづくり専門アドバイザーの佐伯先生と熊本県認知症介護指導者の松永先生に講演していただきました。

当日は関係機関だけでなく、老人クラブの代表者の方々や住民の方々など、264名の参加を頂き、認知症に対して関心の高さを感じました。

～アンケート結果～

1、日頃、認知症をどれだけ身近に感じていますか。(複数回答可)



2、講演内容について・・・

(1) 認知症になっても、暮らせるための地域での支えあいについて・・・講師:佐伯 謙介氏

【理解できた(勉強できた)点】

- ・認知症に対する取り組みの重要さが伝わってきた。
- ・地域で支えていく上で、身近な暮らしの場での助け合い、地域の力が根底にあり、とても必要である。
- ・公的機関だけでなく、もっと小さなつながり、情報収集が大切である。

【もう少し知りたかった点】

- ・実際に取り組まれている事例や市町村の活動など、具体的な情報がほしかった。
- ・自分の住んでいる土地ではどうなのかを知りたかった。



(2) 認知症になっても、地域で暮らせるための基本的理解と対応について・・・

講師:松永 美根子氏

【理解できた(勉強できた)点】

- ・認知症サポーター100万人キャラバンや地域で暮らす為のネットワーク、家族へのケア・サポートを活用するなど、認知症を取り巻く環境、社会の仕組み等が理解でき安心が出来た。
- ・周辺症状はその要因を取り除く事によって85%改善されるという認識はとても勉強になった。
- ・認知症になってもならなくても最後まで自分らしく生きることが大切だということ。

【もう少し知りたかった点】

- ・具体的な症例をもっと多く挙げてもらい、色々な改善例や認知症に関する相談機関の紹介があると良かった。
- ・問題行動(認知症)への対応の方法と診断の時期について知りたかった。





研修会会場で紹介された本のご紹介



認知症高齢者の治療と看護計画

編著 諏訪さゆり

●定価 3,000円(税別)

認知症フォーラムの中で紹介された一冊です。主に認知症に対する看護のポイント・また事例の掲載もあり内容が充実しています。是非一度読まれる事をおすすめします！

3、認知症になっても、地域で暮らしていくためにどうすれば良いと思いますか？

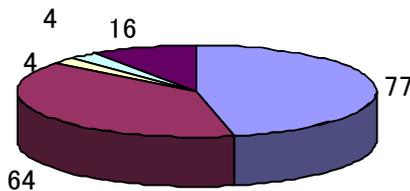
- ・地域住民一人一人が認知症に対する理解を深め連携を図り、認知症の方と上手にコミュニケーションが出来るような地域を作る。
- ・誰でも気軽に集い一日自由に過ごせる場所、相談・援助の場を個別に持てるシステムがあると良い。また、今回の研修会等に積極的に参加し認知症サポート体制(ギャランメイト)を活用していく。

『認知症サポーター100万人キャラバン』・・・

認知症の人と家族への応援者である認知症サポーターを全国で100万人養成し、認知症になっても安心して暮らせる町づくりを目指している。自治体などでは認知症のサポーター養成講座の講師役(キャラバンメイト)を養成します。

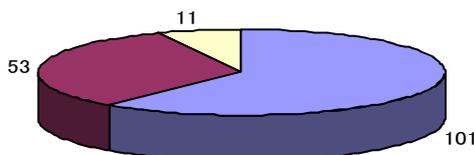
<http://www.caravanmate.com/>

4、今回研修で学んだことを、あなたの職場や地域で活かすことができますか？



- 1: すぐに活かしたい
- 2: 将来活かしていきたい
- 3: あまり活かすことはできない
- 4: わからない

5、平成18年4月から地域の高齢者の生活を支える総合機関として各市町村に設置された「地域包括支援センター」をご存知ですか。



- 1: 知っている
- 2: 知らない
- 3: 無

地域包括支援センター

平成18年4月より新設され、各市町に必ずあります。高齢者福祉の総合窓口、市民や町民の生活を総合的に支えていくための拠点で、総合相談・支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメント、ケアマネジャー支援の4つの業務があります。高齢者やその家族などからの介護や健康、福祉、その他の生活上の様々な相談や、いつまでも元気に安心して暮らせるように介護予防などのサービスや成年後見制度など紹介をされています。

講演会終了にあたり・・・

アンケートの最後に『認知症について悩まれていることは？』『今後の研修会開催について』という問いには、認知症という病に対しての知識だけでなく、対応の仕方や相談機関、連絡体制など、多岐にわたり、認知症に対しての皆様への想いの強さを痛感しました。ここでは紹介しきれないほど多くの貴重なご意見を頂戴し、大変ありがとうございました。会場や受付、進行などにおいて不十分な点もあり、ご迷惑をおかけしました。今後の研修会開催に活かしていきたいと思っております。



連絡先

菊池地域リハビリテーション広域支援センター
〒869-1106 熊本県菊池郡菊陽町曲手760
熊本リハビリテーション病院内

TEL 096-232-3194 FAX 096-232-3119

E-mail chiiki - reha@marutakai.or.jp

URL <http://www.marutakai.or.jp/kcr/>

電話での相談の受付は
午前9時から午後5時まで随時受けております。
またFAX・電子メールでは
24時間受け付けておりますので
お気軽にご連絡ください。

